

笑 た顔 めの に



目次

目次

- 01 表紙
- 02 目次／親子議場見学会のご案内など
- 03 2月定例会の流れ
- 04 2月定例会の議決結果
- 05 議決結果ピックアップ解説
- 06 予算審査特別委員会
- 08 議会運営委員会／常任委員会
- 10 代表質問(6人)
- 13 一般質問(19人)
- 23 政務活動費／議長交際費／6月定例会の予定
- 24 表紙の説明／編集後記など

夏休み親子議場見学会のご案内

8月4日(金) 10:00～11:30

親子議場見学会を開催します。

- ・議場で議員体験
- ・議場、委員会室の見学
- ・議会の役割を学ぼう

などを体験できます。是非、お申込みください！

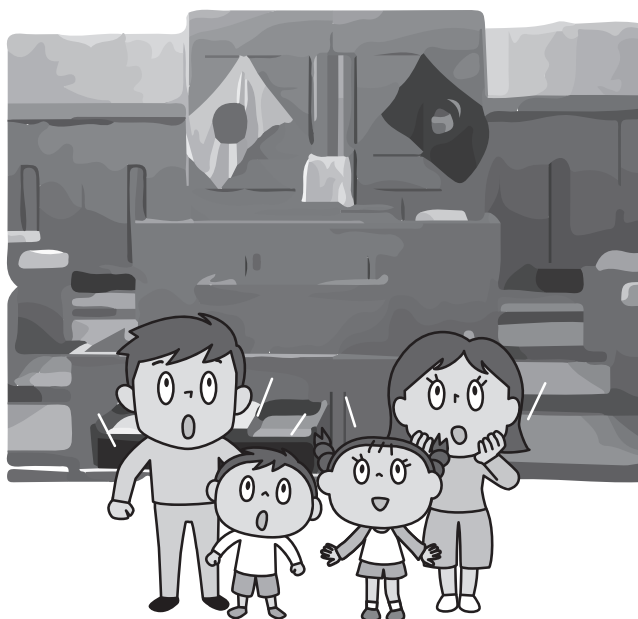
申込期間：6月10日～30日

対象：市内在住の小学5・6年生とその保護者

定員：10組(先着順)

参加費：無料

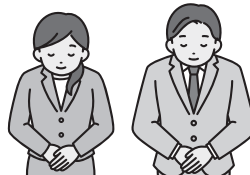
申込方法：電子申請で(QRコードから申込可)



あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑や議会だよりの内容等、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メール等でご意見お待ちしております。

アンケート用紙→傍聴席アンケート回収箱に
郵便→〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を『ネット』で見よう！

本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。
下のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが、スマホやタブレットから見られます。

令和4年度視聴実績

- 録画映像……3,339件
- ライブ中継…8,134件

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。

富士宮市議会

検索



2月定例会では、議案審議や一般質問等に加え、次年度予算を審査する「予算審査特別委員会」や市長施政方針に対する質疑を行う「代表質問」が行われました。

2/8
開会 ※1
提案理由説明 ※2
市長施政方針

議案（条例の一部を変えることや、令和4年度補正予算など）について審議しました。

2/10
議案審議
 チェック!P4



常任委員会では、所管事務調査※3を行いました。

令和5年度予算案の審査は、予算審査特別委員会に付託※4されたため、2日間の日程の中で集中的に審議が行われました。

代表質問とは？
 市長施政方針の内容に対し、各会派の代表議員1人が質疑を行うことです。

2/13～15
委員会開催
 チェック!P8・9

3/6～7
予算審査特別委員会
 チェック!P6・7

2/27
代表質問
 チェック!P10～12

予算審査特別委員会に付託した案件を含め、その他の議案について、審議し決定（＝議決）しました。



一般質問とは？
 議案とは別に、議員が市の事業全般について執行状況や考え方などを問い、適切に進んでいるかをチェックするものです。また、議員は活発に市に対し提言を行います。

3/10、13～15
一般質問
 チェック!P13～22

3/15
議案審議閉会
 チェック!P4



- ※1… 議会の冒頭で、提出議案についての説明を行うことです。
- ※2… 次年度の基本方針や政策についての姿勢を示すための、市の長として行う方針演説のことです。
- ※3… 所管する事務について任意に調査すること。富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの委員会（総務文教、環境厚生、産業都市）が組織されています。
- ※4… 一部の議案については、より詳しく検討を行うため所管の委員会に審議を託します。この託す行為を「付託」といいます。



2月定例会 議案審議

2月8日～3月15日まで開会以下の議案を議決しました。

議案番号	件名	議決結果
報第1号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第2号	富士宮市土地開発公社の令和5年度事業計画の報告について	〃
報第3号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和5年度事業計画の報告について	〃
報第4号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	〃
報第5号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	〃
議第1号	富士宮市地域創生基金条例を廃止する条例制定について	原案可決 全会一致
議第2号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第3号	富士宮市スポーツ広場条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第4号	富士宮市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第5号	富士宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第6号	富士宮市立保育所の設置及び管理に関する条例及び富士宮市子ども子育て会議設置条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第7号	富士宮市部設置条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第8号	富士宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	〃
議第9号	富士宮市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第10号	岳南排水路管理組合規約の変更について	〃
議第11号	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	〃
議第12号	山宮ふじざくら球技場人工芝等整備工事請負契約の変更について	〃
議第13号	市道路線の認定について	〃
議第14号	令和4年度富士宮市一般会計補正予算(第8号)	〃
議第15号	令和4年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第16号	令和4年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第17号	令和4年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議第18号	令和4年度富士宮市水道事業会計補正予算(第3号)	〃
議第19号	令和4年度富士宮市下水道事業会計補正予算(第3号)	〃
議第20号	令和4年度富士宮市病院事業会計補正予算(第3号)	〃
議第21号	令和5年度富士宮市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議第22号	令和5年度富士宮市北山財産区特別会計予算	原案可決 全会一致
議第23号	令和5年度富士宮市国民健康保険事業特別会計予算	〃
議第24号	令和5年度富士宮市上井出区財産区特別会計予算	〃
議第25号	令和5年度富士宮市猪之頭区財産区特別会計予算	〃
議第26号	令和5年度富士宮市根原区財産区特別会計予算	〃
議第27号	令和5年度富士宮市介護保険事業特別会計予算	〃
議第28号	令和5年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃
議第29号	令和5年度富士宮市水道事業会計予算	〃
議第30号	令和5年度富士宮市下水道事業会計予算	〃
議第31号	令和5年度富士宮市病院事業会計予算	〃
議第32号	富士宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第33号	令和4年度富士宮市一般会計補正予算(第9号)	〃
選第1号	教育委員会の委員任命に関し同意を求めることについて	同意 全会一致
議選第1号	共立蒲原総合病院組合議会議員の選挙について	決定
議決第1号	富士宮市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 全会一致
議決第2号	富士宮市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	〃
議決第3号	富士宮市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議決第4号	富士宮市議会個人情報保護に関する条例制定について	〃

※報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、議選＝議会で行う選挙や人事案件、議決＝議会からの議案の略。
(毎年2月定例会からの通し番号)

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

【賛否が分かれた議案】		○は賛成。×は反対。																						
議案・結果	議員名 (議席番号順)	渡辺佳正	若林志津子	近藤千鶴	辻村岳瑠	細沢 覚	望月則男	齋藤和文	佐野寿夫	植松健一	仲重恭平	臼井由紀子	深澤電介	佐野 孜	佐野和彦	船山恵子	佐野和也	望月芳将	諏訪部孝敏	鈴木 弘	村瀬 旬	小松快造	松永孝男	
		議第21号	令和5年度富士宮市一般会計予算	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	※	○	欠席

※議長は表決に加わりません

令和5年度一般会計予算について審議した結果、賛成多数により原案を可決しました。審議の中で、賛成討論と反対討論が行われたので、討論の内容を以下のとおり討論を行った順に掲載します。

反対討論（渡辺 佳正 議員）

反対する理由は1点、(仮称)郷土史博物館基本構想について通常の文化振興費予算になっていることです。令和6年度に基本計画策定とあり、5年度は通常の文化振興事業だけでは、幅広い市民の理解を得ることは到底できません。継続性という観点から5年度予算で(仮称)郷土史博物館事業の予算を組まないことは空白の1年となります。5年度予算審査に対する議会の議論を封じ、選挙の争点から隠すためだと判断せざるを得ません。

賛成討論（細沢 覚 議員）

財源不足が生じないよう、歳入では臨時財政対策債の減額分を普通交付税の増額分とし、振替えを手堅く算出しています。歳出では、重層的支援体制整備事業の準備に向けた予算は、限られた福祉財源を有効活用するための計画に必要な人材育成であると考えます。出産・子育て応援事業を予算化している点も重要な予算編成であります。外神スポーツ広場夜間照明工事により平日の夜間利用が可能になります。以上のことから賛成とします。

反対討論（近藤 千鶴 議員）

コロナワクチン接種事業の5～11歳小児ワクチンに反対です。全国で小児接種率は1回目24%、2回目23%、3回目はわずか9%で、殆どの保護者が子どもに打たない選択をしている中、国が推奨することに疑問です。また、(仮称)郷土史博物館基本構想で代表質問の答弁は「市民の理解はいただいている」とのことでしたが、市民への周知はできていないと思います。市民へ博物館のことを理解してもらうための努力が見えない予算に反対です。

反対討論（深澤 竜介 議員）

選挙対策の論点つぶしで、(仮称)郷土史博物館事業について予算計上されていません。議論から除外されています。こうした動きに翻弄される職員には閉塞感があり、その結果、定年退職者以外の退職者の増加につながっていると考えます。この手法が子どもたちに与える影響はいかがでしょうか。大人の世界を生きていくにはこうした手法が必要だと説明するのでしょうか。予算計上して議論の俎上に載せるべきです。正々堂々と行くべきです。

賛成討論（植松 健一 議員）

本予算を総括すると、厳しい社会情勢の中でも市民が安心して心豊かに生活し、持続可能社会に向けて前進していくためのものであると感じます。財政上では持続可能な運営を強く意識しており、将来負担を増やさない健全な運営の確立を目指すものであり大変安心感があります。各種基金も確実な積立が行われ、今後の財政需要に柔軟に対応するための基盤の強化も図られ不安のないものとなっており、執行するに十分値するものであります。

計5人の議員が討論を行いました。採決の結果、**賛成多数で原案を可決しました。**

その後、可決された令和5年度富士宮市一般会計予算に対して、小松議員、佐野和彦議員、望月則男議員、臼井議員、船山議員から、附帯決議案(※1)が提出されました。附帯決議案の内容を抜粋して掲載します。

1. (仮称)郷土史博物館構想について、あらゆる考えの市民に対し、事業の意義を理解してもらうための説明会を行うべきである。市民が正しく事業の是非を判断できるように丁寧な説明を行うとともに、事業に対する方針を示すなど、議会で議論できる環境を整えていただきたい。
2. 令和2年度予算審査で指摘されたことをふまえ、令和2年度予算案で添えられた附帯決議(※2)を意識していただきたい。

上記、附帯決議案について、令和5年度富士宮市一般会計予算に付すか否か採決した結果、可否同数となりましたが、議長の裁決により否決されました(附帯決議を付さないことになりました)。

※1…附随的に付けられる意見や要望のこと。実質的には議会の意思表示。ただし、法的拘束力はなく、市は道義的責務を負う。

※2…令和2年度予算審査特別委員会において、(仮称)郷土史博物館の検討事業を進めるに当たり、幅広く意見を取り入れること。社会情勢に柔軟に対応し建設ありきの事業にしないという附帯決議を付した。

予算審査特別委員会

【渡辺 佳正 委員長のコメント】

「ウィズコロナと物価高騰」、「少子・高齢・人口減少」、「デジタル化と脱炭素」など多くの課題に直面する中での予算審査となりました。

特に、「かつてない急激な物価高騰から暮らしと地域経済をどう守るのか」に市民の関心が集まっています。危機的な畜産酪農家をはじめとする事業者への支援、インボイス制度開始に伴う諸問題、子育て支援としての学校給食費無償化、子ども医療費完全無料化などの要望にどう応えるかについて、「現時点で国の財源が示されない中で、国の動向を見守る」という市の姿勢は物足りなさを感じました。

デジタル化については、マイナンバーカードを持たない市民に不安を感じさせないことが今後の大きな課題だと考えます。



▲渡辺 佳正 予算審査特別委員長

会派が注目する令和5年度に予算化された事業

日本共産党議員団

住宅リフォーム宮クーポン事業費補助金 予算額 47,260千円

高齢者生活用具給付事業 補聴器購入扶助費 予算額 3,000千円

住宅リフォーム宮クーポン事業は、日本共産党議員団が長年要求し、小室前市長が制度化し須藤市長に引き継がれました。12年前の東日本大震災の時、富士宮でも屋根瓦が落ちる、壁にヒビが入るなど多くの被害が発生し、須藤市長の英断により特別に3月11日の被害も含めることができ、それがこの制度のスタートとなりました。リフォームを希望する市民・施工業者・宮クーポンで食事や買い物をしてもらう商店の3者が得をし、事業費の約17.3倍の効果額（令和3年度決算の事業費3,960万円で工事費約3億7千万円）がある制度です。毎年度希望する市民が多く、今年度は30件の増額となりました。

補聴器購入補助は、全国的に取り組みまれてきました。高齢期を考える会からの要望もあり、昨年度から実施され、240万円80人分でした。今年度は要望する人が多かったため、300万円100人分となりました。

富岳会

文化振興費 人件費 86,498千円

世界遺産VRコンテンツ制作等委託料 4,247千円

記念イベント委託料(世界遺産登録10周年記念祭) 3,000千円

(仮称)郷土史博物館構想においては、特段予算化されず、通常業務の範囲で、市民の理解や調査研究を進めると答弁がありましたが、具体的な予算がないにも関わらず事業を行えるのか不信感を抱かざるを得ません。過去に、附帯決議を付けたことを再度意識し、市民説明会や市民に向けた周知、意見聴取を怠ることのない事業を考えていただきたいです。

世界遺産VRコンテンツ制作等委託料について、本年は第5次富士宮市総合計画後期基本計画の2年目となり、総合計画の総仕上げに向けての歩みを感じます。その中で、VRを活用した構成資産等のPRに関しては、天気が悪く富士山の眺望を楽しめない観光客にもアプローチできるよいものであると感じます。また、市ではDXを推進していますので、それに見合った事業でもあったと考えます。

富士山世界文化遺産登録10周年記念事業は、具体的な説明が少ない中での言葉の先送り感は否めませんが、取り組む姿勢は評価したいと思います。

会派が注目する令和5年度に予算化された事業

公 明 会

都市交流事業 サンタモニカ訪問団派遣事業 予算額 5,797千円

令和2年に、サンタモニカ市と富士宮市との姉妹都市提携が45周年を迎えました。前年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年、4年と親善訪問団派遣事業は中止を余儀なくされましたが、代替事業として、外神東公園に記念植樹（アメリカの木ハナミズキ）、案内看板のリニューアル、ビデオメッセージでの交流、学生間のグリーティングカード交流、記念品の作成など行うことができました。

令和5年1月には、提携50周年記念事業の先発隊として7名がサンタモニカ市へ、2年振りの訪問交流を行うことができました。2年後の50周年記念事業に向けてのキックオフミーティングを、サンタモニカ市国際交流協会、サンタモニカ市、SGIアメリカ総本部、サンタモニカ高校に赴き、行うことができました。令和5年度から、訪問団派遣事業が再開され、相互交流が期待されます。高校生の交換留学生事業についても、令和5年度初めより募集が開始される予定です。

インドの詩人であり、ノーベル文学賞受賞者タゴールの言葉に『人々の間に結合をもたらし、平和と調和を築くことこそが、文明の使命である』とあります。この言葉のとおり、48年にも及ぶ国際交流の意味、なお一層の充実と今後も長きにわたる交流を期待する事業です。

至 誠

富士宮駅前広場等施設整備詳細設計業務 予算額 48,000千円

富士宮駅前広場は当市の玄関口の一つであり、電車での来訪者が当市について抱く第一印象の場でもあります。今まではそのことについてあまり意識がされていなかったようで、広場から見える富士山についてもその眺望に誘導するような措置もとられていなかったことが非常に残念でありました。

本予算により、令和5年度に実施する詳細設計では、ペDESTリアンデッキからの富士山眺望について、眺望を阻害する看板等の施設を可能な限り除却または移設し、眺望できる場所にベンチを置くことなどを計画しているとのことであります。また、天気により富士山が見えない場合にも配慮し、デジタルサイネージを活用したイメージ写真や市内各地の富士山眺望点へどのように誘導できるのかなどを設計に反映していくということでもあります。

当市は富士山を有するまちとして積極的に富士山を活用し、イメージ付けを行うことで、それがシティセールスになり、また誘客にも繋がっていくと考えられ、非常に期待するところであります。

育 成

外神スポーツ広場照明設置工事費 予算額 110,000千円

第5次総合計画の基本目標4の施策6に『スポーツによる健康づくりと人々の交流を創出するまち』を掲げています。そのため、外神スポーツ広場に照明設置工事を行い、市民に有効的なスポーツ広場として使える予算措置になったと考えます。さらには、令和6年3月完成、4月使用開始することは、地域への中学校クラブ活動移行なども考慮されていると考えます。これまでは、夜間のスポーツ環境が限られていた当市において、夜間照明設備が十分でなかったことに対して、多くの市民からの要望を承っており、外神スポーツ広場の夜間照明により、希望する市民が多く利用できるようになります。また、スポーツ環境が持つ影響力は大きく、WBCでの日本国民の盛り上がりは記憶に新しいところです。市民の健康と生き生きとした暮らしに貢献する予算であることに期待を致します。

今後も、いつでもどこでも誰でも気軽に楽しめる場所、そして障がい者も健常者もスポーツに対する関心がより一層高まり、スポーツの持つ素晴らしさを再認識し、より多くの市民のスポーツへの参加と技術向上につながるスポーツ環境への予算措置に期待します。

無 会 派

不妊不育症治療費助成事業 予算額 41,337千円

令和4年度予算より1千万円増額した本事業です。

令和3年度の実績としては、母子健康手帳交付まで達成できたのは58名でした。少子化の中、大変希望や期待が持てる事業です。今後、冷凍精子保存事業なども新たな事業として、取組の必要性を感じます。

無 会 派

共同処理実証実験負担金 予算額 7,800千円

現在衛生プラントへ投入している、し尿と浄化槽汚泥を星山浄化センターへ直接投入し、排水処理した場合の影響を測定する実証実験の費用です。将来的に共同化による経費削減に向けた大きな一歩と考えます。

無 会 派

監視カメラ借上料 予算額 389千円

違法・脱法盛り土を抑制するため、稼働式カメラを3台貸出す事業です。今まで法律の抜け目を利用して行っていた盛り土が、見受けられなくなりました。この事業により、農業委員会と連携して市内の盛り土の状況が改善されることを期待します。

議会運営委員会

佐野 和彦 委員長コメント

今期議会（H31.4.27～R5.4.26）最後となる2月定例会では、予算審査特別委員会も含め新型コロナウイルス感染症対策として、演壇と一般質問席に飛沫飛散防止パネルを設置し、議員並びに当局が発言する際には、マスクを外し発言ができるように決定しました。

また、1年間をかけて取り組んだ富士宮市議会個人情報の保護に関する条例を制定し、委員会等にオンライン出席を可能とするために、委員会条例及び会議規則の改正を行い、正式に委員会のオンライン開催ができるようにしました。



この1年間、課題に取り組み委員長の任務を果たすことができたのは、委員7人と議会事務局の協力があったのことに感謝をいたします。

総務文教委員会

齋藤 和文 委員長コメント

2月定例会、総務文教委員会では、市当局より『移住・定住の現状と今後について』と題して説明がありました。地域活性化や少子化対策の一つとして、首都圏人口の一極集中是正の方針に合わせ、移住定住奨励金・移住就業支援金制度の活用、首都圏で開催する移住相談会への参加、首都圏を中心とした移住希望者への積極的な呼び込み、を行っているとのことでした。

それぞれの取組の概要としては、移住定住ポータルサイト、奨励金や支援金の活用、移住定住推進地域（稲子・猪之頭・青木平の3地区）との連携、相談会への出展・参加、オンライン移住相談窓口の開設、首都圏シティセールスやふるさと納税事業などとの連携を深めていると説明がありました。

移住相談件数については、コロナ禍で落ち着いてはいますが、移住者は平成29年度43人と比べ、令和3年度は111人と2.6倍と年々増加しており、成功していると思われます。

今後については、ポータルサイトのさらなる充実、新規取組の『fujinomiya life サポートズ』の設置、コワーキングスペース「i/HUB」との連携のほか、他の自治体の取組とは異なるものとして、20-30代女性をターゲットにする積極さは目を引くものでした。各委員からも多くの意見要望が出され、充実した調査となりました。



環境厚生委員会

渡辺 佳正 委員長コメント

政策課題である「重層的支援体制整備事業の推進について」は、令和6年度からの事業実施に向けて、市内の複数部署連携、庁外の専門機関連携、十分な専門職員の配置などを要望として報告しました。

所管事務調査では、市立病院から事業報告を受けて質疑応答を行いました。整形外科医が1人増えることで、夜間・休日の救急体制が強化されることは評価できますが、医療ひっ迫を招かないことや医療従事者の働く環境改善のため、さらなる医師・看護師等の増員が求められると考えます。

もう1件の所管事務調査「保育士が働く環境の現状と課題」では、市は保育士を国の基準以上に配置しているとのことですが、50～70年以上変わっていない国基準そのものの大幅改善を国に求める必要があります。また、当市の公立保育園の正規保育士と会計年度任用保育士の割合が52：48と、約半数がいわゆる非正規職員である現状は、大幅な改善が求められます。市の所管ではない私立の保育施設についても、保育士配置状況や保育士の処遇等について県と情報を共有するなどして、富士宮市全体の保育施設の安心安全を市として保障することが求められます。



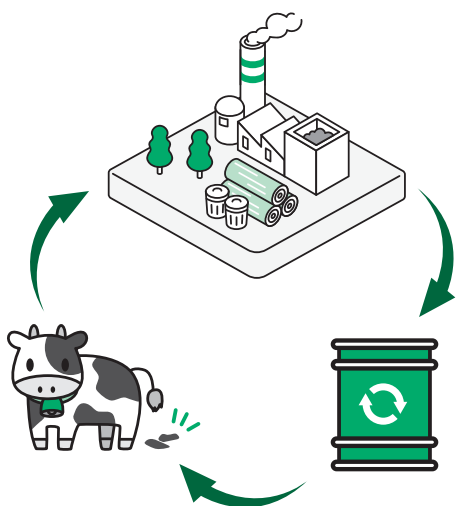
産業都市委員会

辻村 岳瑠 委員長コメント

牛ふん処理に関するこれまでの調査・研究を報告書としてまとめ、市の産業振興部長に提出しました。報告書の主な内容は4点で、バイオガス発電、堆肥としての活用、燃料としての活用及び牛ふん完全処理です。

バイオガス発電は、イニシャルコスト、牛ふんの処理運搬費用、排出される消化液の処理などに課題が多くあることを改めて確認しました。

堆肥としての活用は、各酪農家で堆肥を製造しているが、熟成度や配合バランスがそれぞれ異なるため、安定供給が難しい現状を確認しました。



燃料としての活用は、県の畜産技術研究所において、牛ふん燃料ペレット製造に関する技術はほぼ確立しているが、実用化に至っていません。

牛ふん完全処理については、発酵乾燥による処理装置を導入することにより、処理後の成果物を牛舎の敷料やボイラーの燃料として再利用すること。自己敷地内にふん尿処理施設として処理装置を設置し、短時間での堆肥化、燃料化を目指す中で、現在の重油によるボイラー稼働から将来的には堆肥燃料材に転換することで、自己完結型のふん尿堆肥処理が可能となる仕組みをまとめ、報告しました。

報告書の成果は、畜産業の更なる発展、そして当市にとって最大の資源である『水』を守ることだと考えています。

に ほんきょうさん とう ぎ いん だん
日本共産党議員団
 わたなべ よしまさ
 (渡辺 佳正)

(仮称) 郷土史博物館について

問 ①令和5年度はどのような形で、どのような説明をしていくのか。②策定済みの基本構想を変えずに、これまでと同じ説明で市民の理解が進むと考えるのか。

部長 ①文化課で開催する歩く博物館や郷土資料館の展示説明、古文書や土器に関する講座等で、文化財の価値を伝え、後世に伝えるための博物館の必要性を御理解いただけるよう努めたい。②令和4年度基本構想について説明し、多くの方から御意見をいただき、基本構想の基本理念や事業活動の考え方、施設整備の考え方におおむね御理解いただけたと認識。また場所や規模、必要となる費用などについては、基本構想策定段階では、案や想定として挙げており、今後基本計画を策定する中で決定していく。

プラスチックごみの分別について

問 プラスチックごみの分別について、再資源化事業者との協議が調わないと、分別の方法や回収の頻度など、市民に説明ができないと思われる。再資源化事業者との協議は令和4年度中にまとめ、予定どおりプラスチックごみ分別回収の市民説明会を開いていくのか。また、プラスチックごみ再資源化に必要な財源はどの程度か。その財源を確保できる見通しはあるか。

部長 令和6年度からのプラスチックごみ資源化実施に向け準備を進めている。市民の手間が最小限となるよう回収頻度や分別方法を検討、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会に全量引き渡し、確実に資源化できるよう関係事業者と調整を行っている。説明会は、市民に分かりやすく、丁寧に、そしてしっかり説明できるよう準備を進めている。財源の確保は、プラスチックごみの資源化には、収集運搬、中間処理、資源化処理と多額の経費がかかると想定し、確実に財源確保できるよう庁内調整を行っている。

いく せい
育成
 ほそざわ さとる
 (細沢 覚)

市政運営の基本的姿勢

問 国の予算編成における基本方針は、本市においては何が優先的なのか見解を伺う。

部長 第5次富士宮市総合計画で掲げる将来都市像の実現に向けて、3つの重点取組と7つの基本目標に定めた施策を推進していく。また、コロナ禍において国が進める、物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策に合わせて、経済対策の効果が最大限に発揮されるよう万全の経済財政運営を行う。

誇りの持てる品格あるまちづくりと文化財

問 コロナ禍からの観光の回復に、文化財の魅力をどのように結びつけるのか。

部長 SNSでの発信をはじめ、既存のイベントやお祭りなどとの連携、観光展や旅行会社へのセールスを通じて、文化の魅力を発信し、誘客を図る。

コロナ禍で強めたスペインとの絆。スペインとのスポーツ交流について

問 ふじざくら球技場の人工芝化は、スペインサッカーとの交流の機会にならないか。

部長 空手道以外の競技でも交流が可能か検討しており、情報交換会を実施した。富士宮市における小学生サッカー交流について興味を持ってもらえた。スペインとのサッカー交流が実現した際には、積極的な活用を考えている。

(仮称) 郷土史博物館構想について

問 公共施設の目的は、市民サービスの質の向上である。郷土の歴史・文化でどのように市民生活の質を向上させるのか伺う。

部長 (仮称) 郷土史博物館構想では、基本理念を「富士宮市の歴史・文化を学び未来を拓く、人づくりの拠点」とし、富士宮市の歴史・文化に親しみ理解を深める機会をとおし、市民が富士宮市への愛着と誇りを持ち探求心を刺激し多様な学びや体験を生み出す場としている。



し せい
至 誠
うえ まつ けん いち
(植松 健一)

富士宮駅前広場の周辺施設整備について

問 富士宮駅前広場の周辺施設整備について、景観という部分では、やはり富士山の眺望について期待したい。何かアイデアはあるか。

部長 令和5年度に実施する詳細設計では、ペDESTリアンデッキからの富士山眺望について、眺望を阻害する看板等の施設を可能な限り除却または移設し、眺望できる場所にベンチを置くなどを計画していきたいと考えている。また、天気により富士山が見えない場合に配慮し、デジタルサイネージを活用したイメージ写真や、市内各地の富士山眺望点へどのように誘導できるのかなど、設計に反映していきたいと考えている。

カーボンニュートラルL Pガス導入について

問 公共施設の一部において、環境に優しいカー

ボンニュートラルL Pガスを導入しますとは、具体的にはどのような計画か。

部長 令和5年度に現在プロパンガスを使用している公共施設のうち、ガスの使用量が比較的多い市立保育園12園とあすなる園の13施設において、カーボンニュートラルL Pガスの導入を予定している。こうしたカーボンニュートラルL Pガスについては、取扱いが始まったばかりであることから、市が脱炭素化に向けて先導的に取り組むことで、市民及び事業者への普及にもつなげていきたい。

民間での工業団地造成に向けた取組について

問 民間による工業団地造成に向けた取組について、令和5年度に向けた見通しはあるのか。

部長 現在幾つかの企業から問合せをいただいているが、工業団地開発には、法令などをはじめ、様々な課題をクリアする必要があるため、今後も具体的な相談の中で、その手法を検討しながら、開発計画の具現化に向けた支援を継続していきたいと考えている。

ふ がく かい
富岳会
もち づき のり お
(望月 則男)

「はじめに」について

問 富士山の世界文化遺産登録で何がどのように変わったのか。世界遺産センターの入館者数の推移、街中の回遊者の調査は行っているか。

部長 入館者数の近年の推移は、世界遺産センター提供の資料より、コロナ前の令和元年度が年間31万5千人、令和2年度は7万4千人、令和3年度は8万9千人、そして令和4年度は1月末までで9万6千人。今後、街中への人の流れについて、何かしらの調査等をしていきたい。

「結婚・出産・子育ての希望実現プロジェクト」について

問 安心して出産するためにも市立病院だけでなく、民間病院の誘致施策について伺う。

部長 当市の分娩施設数は、平成20年度では市

立病院のほか、民間産婦人科医院及び助産所合わせて6か所、平成21年3月と平成31年3月、令和3年3月に1か所ずつ産婦人科医院が分娩の取扱いを終了、現在は富士宮市立病院と民間助産所2か所。市内に出産できる病院や診療所が増えることは、市民や妊産婦に対し安心を与えることにつながるが、病院や診療所の経営が困難な状況も事実であり、現時点では病院や診療所が増える見込みはない。

「人口減少に打ち克つスマート自治体プロジェクト」について

問 空き家、空き地、耕作放棄地などへの対策こそDXを活用できると考えるがいかがか。

部長 そのような仕組みは、情報連携やシステム構築に課題が多く、独自に構築することが難しいもの。システムも市場に見当たらないものであるため、短期間での実現は非常に困難である。デジタル技術の進展は目まぐるしいものがあるので、情報収集を行い、動向を把握し、実装についての可能性を調査していきたい。

こうめいかい

公明会

さのとしお

(佐野 寿夫)

国道469号下条・精進川地先について

問 現状とその後、残区間の展開は。

部長 3つの工区に分けており、上野中学校側から1工区、山間部の狭隘区間を2工区、猫沢地先側を3工区としている。2工区は、北側を2-1工区、南側を2-2工区とし、秋頃には2-1工区の工事が発注できるよう準備を進め、2-2工区を令和6年度に工事発注する予定。

サンタモニカ市との提携50周年について

問 サンタモニカ市に姉妹都市協会が令和5年1月に訪問した。詳細と今後の計画は。

部長 直接顔を合わせて言葉を交わし、サンタモニカ市の方々の50周年記念事業への熱量を肌で感じ取ることができた。現時点では双方の市において記念事業を実施する方針、また様々な分野で交流を検討することを確認した。

むかい は

無会派

こんどう ちづる

(近藤 千鶴)

新型コロナウイルス感染症の5類への見直し

問 平時の生活を取り戻していく取組、マスク着用の移行をどのようにするのか。

部長 引き下げに伴い、発熱外来に限らず、一般医療機関で受診が可能。濃厚接触者の対策はない。抗原検査キットの配布と不安解消の窓口を開設できるよう準備する。学校におけるマスク着用の考え方の見直しは、4月1日から適用。様々な場面や対応をわかりやすく周知する。

問 異次元の少子化対策で学校給食の無償化を考えていないか。

部長 現在は、法律で材料費は保護者の負担。給食を無償化している自治体もあるので国の動向を注視していく。国に対して要望していく。

問 (仮称)郷土史博物館基本構想について、市民に対する理解や昨年の市民説明会での市民

一般広域道路富士富士宮道路整備促進

問 富士市との連携状況と今後は。

部長 須藤市長の声かけにより、令和4年1月29日に同盟会が設立した。昨年9月には、斉藤国土交通大臣に直接要望書を提出し、同盟会副会長の富士市長と、岳南地域の渋滞対策の必要性を訴えてきた。経済界や運送業界も加わっていただけるよう、富士市と連携して来年度の総会に向けて準備を進めている。負担金も、両市で来年度予算に要求するなどの連携をしている。

富士宮市への敬愛感について

問 市民の皆様にも、富士宮市への敬愛感をどう高めていくか。

部長 令和5年度は富士山が世界文化遺産登録されてから10周年を迎える。世界遺産登録10周年を祝う記念事業を通して、市民の皆様とともに富士山の偉大さを再認識し、富士山の恵みに感謝し、「いつまでも富士山を世界遺産に」、という思いを共有することが市民の皆様への敬愛感にもつながっていくと考えている。

の意見をどのように受け止めていくのか。

部長 郷土の歴史文化を知ること守っていくことにどんな意義があるのか、また、博物館が歴史文化の拠点となることで可能になる活用具体例を示す。講座で博物館必要性を伝える。説明会でいただいた意見は基本計画で参考にする。

自然環境と共生した持続可能なまちづくり

問 芝川や富士川の水質を守る施策は。

部長 水質調査や排水調査、地下水汚染の継続的な監視。不法投棄防止の環境パトロールや畜産担当部署と共同で畜舎パトロールを実施。

問 自主防災で女性の位置づけを明確にし、女性の力を最大限に発揮できる取組は。

部長 県において、災害時の避難所運営など自主防災会への女性の視点を強化推奨しており、市としても取組を呼びかけていく。

問 民間による工業団地造成に向けた取組と市の関りについて。

部長 地区計画を活用した新たな工業団地の開発推進。官民一体となる誘致活動を展開する。

2月定例会の一般質問

19人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い質し、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。

Topics

議員はこんな内容を質問しています！

- ・ 18歳以下の子どもへの1万円給付 →P13
- ・ 地域福祉体制の整備 →P13
- ・ 近隣自治体との提携 →P14
- ・ イオン富士宮の期日前投票所 →P14
- ・ 富士宮の「水」 →P14
- ・ これからの自治体職員の採用 →P14
- ・ 中学校の部活動 →P14
- ・ 介護人材不足による経営難 →P15
- ・ オーガニックビレッジ宣言 →P15
- ・ 商店街活性化のための顧客獲得 →P15
- ・ 畜産酪農の現状 →P15
- ・ 少子化対策 →P15
- ・ マイナンバーカードの正しい情報 →P16
- ・ 自転車の交通ルール →P16
- ・ 今後のコロナ感染症の対応 →P16
- ・ スポーツ環境 →P16
- ・ 通学路点検と防犯カメラ設置 →P16
- ・ eスポーツ →P17
- ・ 少子高齢化対策 →P17
- ・ 手話言語条例制定後の現状 →P17
- ・ 中学校の制服の選択 →P17
- ・ 保育園等の対応と保育士配置基準 →P17
- ・ 福島第一原発事故の教訓 →P17
- ・ 公共交通の充実 →P18
- ・ 畜産酪農への緊急支援 →P18
- ・ 感染症の事実確認と今後の対応 →P18
- ・ 市立病院会計の待ち時間 →P18
- ・ 北町阿幸地線歩道未開通 →P18
- ・ 災害に対応した都市づくり →P19
- ・ 市営永代供養墓地と納骨堂の建設 →P19
- ・ 生活保護の不正受給の調査と実態 →P19
- ・ ふじのくにエネルギー総合戦略 →P20
- ・ 少子化や学校老朽化に伴う学校再編 →P20
- ・ 有機給食と給食無償化 →P20
- ・ プログラミング教育の現状と課題 →P21
- ・ 小中学生への盲導犬などの福祉学習 →P21
- ・ 有機農業産地づくり推進 →P21
- ・ 富士川かりがね橋の完成の影響 →P21
- ・ 富士川左岸道路の必要性 →P21
- ・ 土地利用計画 →P21
- ・ 協議体の進捗と市民への周知 →P22
- ・ 自治会の衰退とその在り方 →P22
- ・ 空き家などの困った土地について →P22
- ・ 自治会の区割りや町内会編成 →P22

その他、紙面の都合上、掲載しきれなかった質問

- ・ 改正道路交通法のヘルメット等の変更
- ・ 観光資源について
- ・ 全国体力テスト
- ・ 自転車利用者のヘルメット着用
- ・ 放置竹林とバイオ炭



さの かずや
佐野 和也
(育成)

18歳以下の子ども1人につき、1万円の給付を行う根拠について

問 なぜ18歳以下なのか。18歳以下なら働いていても支給されるのか。専門学校や大学へ通っている方も経済的に苦しいのではないかと。

部長 児童福祉法の絡みで、一定の定義を持って18歳で線を引いた。働いている、働いていない、どのような学校に通学しているか、といったことについての判断はしていない。全ての18歳以下のということで判断している。

問 1万円の金額の根拠について。

部長 令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金、これが子ども1人当たり1万円であったことから、それに準じて1万円とした。

問 年金暮らしの高齢者や生活保護受給者、在宅介護者なども影響を受けていると思うが、そ

らの方々への経済支援は考えているのか。

部長 国の施策に基づいて、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を住民税非課税世帯を対象に行っており、現状、市独自の施策などについては考えていない。

地域福祉体制の整備について

問 寄り合い処の開催の継続についての相談等について。

部長 次の担い手が見つからないという相談を受け、活動継続に苦慮しているという話も聞かれる。その際には、市社会福祉協議会の職員が運営者と協力して、今後の活動内容の見直しや運営について話し合いを重ね、担い手となる方の選出をお願いしている。

問 寄り合い処の今後について。

市長 寄り合い処というものの重要性は十分認識している。市社会福祉協議会とも十分協議して、私もできるだけ支援する方向で頑張りたいと思っている。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

近隣自治体との今後における提携等について

問 災害時の協定の現状と今後について。

部長 協定の現状については、全国49自治体と災害時相互応援または支援協定を締結しており、富士宮市と隣接する9市町村のうち、7市町村と協定を結んでいる。基本的に災害時等の有事の際は、静岡県が被害状況を把握し、県内各市町村の支援、受援を調整した上で、協定の有無に関係なく支援協力が行われる。また、協定を締結している市町村に当市から直接支援要請することもある。なお、新しい支援協定については状況により検討していく。

問 広域道路等の取組における現状と今後について。

部長 現状については、一般広域道路富士富士宮道路、国道469号、新々富士川橋などにおい

て、隣接する関係市町と連携して建設促進期成同盟会を結成して要望活動を行っている。

問 道路の建設促進期成同盟会に名を連ねている市町で、災害協定等を結んでいない南部町について、災害協定を結ぶべきではないか。

部長 今後の南部町との連携については国道469号の整備促進には、特に山梨県との円滑な交通機能の確保が必要不可欠であり、当市として南部町との連携は特に重要と考えている。

市長 南部町と当市は親しくお付き合いをしている。要望活動も一緒に行うことが多く、南部町20周年記念式典にも招待を受けた。災害時の協定については打診をし、当市としては積極的に進めていきたいと考えている。

イオンモール富士宮に設置する期日前投票所について

問 具体的な場所について。

部長 イオン東側の薬局付近屋根付き屋外スペース(ATMやマクドナルド近く)に設置予定。期間は他と同様、投票日前4日間を予定。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介
(無会派)

富士宮市の「水」についての諸問題

問 平成29年度末では、県内下位であった汚水処理人口の普及率と県内順位の変化はどうか。

部長 普及率は67.3%から72.3%と伸びたが、順位は、35市町中21位から22位と変化した。

意見 清流の美を提唱している富士宮市としてこの順位は残念である。「合併処理浄化槽設置費補助金」に加えて、県内で、富士市・袋井市・御前崎市が導入している「浄化槽維持管理費補助金」の創設を提案する。

これからの時代の職員採用について

問 自治体運営において優秀な人材確保が一番のポイントと考える。また、新卒一括採用・終身雇用という考え方が変わりつつある中で、今後の職員採用について質問を行う。令和5年度

の富士宮市の職員採用の変更点は何か。

部長 近年受験者が減少傾向で、就職活動が早期化しているため、筆記試験は、公務員試験対策不要で、全国340か所で受験可能な「テストセンター方式」で4月に前倒して行う。

問 今回の変更は楽しみであり、大いに期待したい。さらに、加えて社会人採用枠を検討すべきではないか。

副市長 社会人採用枠となると、組織の中の人員の在り方を検討しなくてはならない。今後も、時代の流れを見据えて優秀な人材を集めるにはどうしたらいいのかということで、改革を進めたい。

中学校の部活動について

問 中学校の部活動は大きな転換点を迎えており、休日の地域移行・中体連県大会へのクラブチームの参加等について、国や県から指針が出た。富士宮市ではどうするのか。

教育長 令和5年度の早期に部活動の在り方検討委員会を設置する方向で進めている。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(育成)

介護人手不足の顕在化による経営悪化

問 東京商工リサーチによると2022年の老人福祉、介護事業者の倒産件数は過去最多である。市内の倒産件数について伺う。

部長 介護サービス提供廃止の届出件数は12件。しかし、別のサービスへの転換などあり、単純に廃止をしたものだけではない。

問 市内の介護の仕事の有効求人倍率は5.05である。これは全国平均、県平均を上回る数字。人的基盤整備の重要性を考えるがいかがか。

部長 全国的な問題である。介護人材確保に苦慮している状況は認識している。国を挙げての取組が必要ではないかと考える。

問 人口減少社会に対して、介護人材を呼び込むことは優先度が高いと考えるがいかがか。

部長 企画部の広報部門とも十分連携し、介護

人材だけでなく保育士もしかり、そのほかの人材を含めて外への情報発信を関係部局と連携して取り組んでいるところである。

子どもたちの食を変えるオーガニックビレッジ宣言

問 味覚形成される時期の子どもたちの食を、より安心安全なものへと変えるオーガニックビレッジ宣言の考えについて伺う。

部長 持続可能な農業を進めていくには、有機農業をしっかりと市としても支えていくという気持ちは変わらない。

商店街活性化のためのイベント後の新規顧客、リピート客獲得につながる取組

問 宮町まつりをはじめ、イベントのにぎわいは素晴らしい。イベント後の新規顧客やリピート客の獲得につなげる取組について伺う。

部長 そのときだけのイベントで終わらせないことが必要である。IT導入の支援にも対応を考えている。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

畜産酪農の現状について

問 乳価の現状並びに経営状況はどうか。

部長 当市を含む関東生乳販売連合会管内においては、令和4年11月に生乳1kg当たり10円の値上げを行った。令和5年6月にも15円程度の値上げを要望中とのことである。経営状況については現在、一般社団法人Jミルクが実施している搾乳牛の淘汰により、市内で100頭の牛が淘汰されたと聞いている。令和5年3月からは国の同様の事業が実施予定で60頭の牛が淘汰される予定である。飼料高騰などの要因による経営難から、事業縮小を余儀なくされる酪農家が出てきている。

問 飼料の市内自給化を進めてはどうか。

部長 今問題になっている耕作放棄地など荒廃農地など空いている農地をうまく利用していく

方策も必要はある。また、現在静岡県畜産技術研究所や富士農林事務所、農協と一体となり、畜産農家と耕種農家との連携の取組として、稲わらの収集及び飼料化について研究を行っている。輸入飼料に依存することのない足腰の強い持続可能な畜産経営を確立するため、自給飼料率を高める取組の調査研究を続けていく。

少子化対策について

問 少子化対策に取り組む今後の姿勢は。

部長 当市においても少子化は重要課題として位置づけ、長期的視野に立って取組を進めていかなければならない。国が打ち出す政策を着実に推進していくほか、産んでよし、育ててよしの理念の下、効果的な独自の施策についても、国の動向を注視しながら研究していく。

市長 当市独自の施策として、子ども1人当たり1万円を給付する、子育て世帯応援給付金は早急に給付できるよう準備を進めている。さらに令和6年度に向けて、子ども医療費無償化の実施について検討に入った。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(育成)

マイナンバーカード申請に抵抗感を抱えている方に対して正しい情報を

問 カードを紛失した場合の対応について。

部長 紛失した場合には、まず24時間365日対応のマイナンバー総合フリーダイヤルに連絡し、不正にカードが使用されないよう一時利用停止の手続を行う。次に、外出中に紛失したことが確実な場合には、警察署へ遺失届を行う。次に、市役所市民課で紛失届を行い、再交付を希望する場合には、再度申請手続を行う。

問 来庁が困難な方へのカード交付について。

部長 代理人の方が本人の直筆による委任状と必要書類を市民課へ持参することにより、マイナンバーカードを受け取ることができる。なお、これまで行わなかった来庁が困難な方に対する個人単位での訪問申請については、今後、

ご要望に応じて実施できるよう検討していく。

問 マイナンバーカードの安全性について。

部長 十分なセキュリティー対策が施されている。暗証番号を知られない限りはマイナンバーを使われることはない。登録した口座の利用状況や残高について監視するような仕組みではない。

意見 個人情報が入ったカードに集約されていることは怖いことだと思う。不信感を払拭できるように市民の方への丁寧な説明が重要。

新生活で自転車を利用する方が増える季節。交通ルールを知り、交通事故を防止しよう

問 自転車の利用状況について。

部長 本市では15～19歳までの通学目的の利用が多い傾向にある。

問 自転車の交通安全教室について。

部長 市内全ての小学校において、4年生を対象に自転車交通安全教室を実施している。

問 外国人に対しての交通ルールの周知。

部長 自転車交通安全教室を開催している。



ほそざわ さとる
細沢 覚
(育成)

新型コロナウイルス感染症の今後の対応策について

問 5類に変更された場合、今後のワクチン接種費用はどのように変わるのか。

部長 令和5年度は、特例臨時接種の実施期間を延長し、これまでどおり自己負担はない。今後、定期接種化する場合は自己負担が考えられるが、具体的な金額は不明。

富士宮市のスポーツ環境について

問 市民体育館の今のままでの放送設備では、スポーツ大会の使用は不可能であると考えるがいかがか、市の対応を伺う。

市長 今後の対応を急いでいるところ。

部長 令和5年度に移動式スピーカーを追加購入する予定。音響設備を改善する。

問 外神スポーツ広場の照明施設の完成時期

と使用料について伺う。

市長 数少ないスポーツ広場の有効利用を考え、ある程度は市の負担で、できるだけ多くの方に使用していただきたい料金を考えている。

部長 令和5年7月着工、完成は令和6年3月。使用開始は令和6年4月。使用料は、他施設の照明設備使用料と比較して算出する。

新学期の通学路の整備点検、防犯カメラ設置について

問 通学路点検方法は。

教育長 子ども安全の日を活用している。また、集団下校の際、教職員が児童生徒と一緒に歩き、危険箇所確認を年3回実施。また、警察や社会教育課の家庭・青少年係に依頼し、見守り活動を強化し、関係課に情報提供して連携を図っている。

問 浅間大社周辺の防犯カメラ設置について。

部長 浅間大社周辺の通学路で、自治会が必要と感じる場所があれば支援をする。



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏
(育成)

eスポーツについて

問 近年、eスポーツは大きな注目を集めており、まちおこしなどに活用している自治体も増えている。当市においてもeスポーツを普及していくべきと考えるが、認識を伺う。

部長 令和5年2月に富士宮市で開催されたフィールドディスクバレーゲームin富士宮は、市内の歴史・文化や観光スポットなど、地域資源を活用し、多くの来訪者が見込めるようなeスポーツの大会やイベントの開催は、市の観光誘客につながっていくものと考えており、今後はeスポーツイベント実施団体などの情報を収集するとともに、市内開催に向けた積極的なアプローチに努めて行く。

少子高齢化対策について

問 急速な少子高齢化及び人口減少が進む中

で、団塊の世代が全員75歳以上になる2025年問題に向けて、現状の課題と今後の取組と少子化対策について伺う。

部長 2025年問題への対策について、市内の地域包括支援センターには、高齢者が自分で買物に行くことが困難であるといった相談もある。その際は、その方に合った方法を提案し、対応している。子育て支援策については、令和4年度、新児童館オープンや物価高騰の影響を受けた子育て世帯への、子育て世帯応援給付金事業などの新たな独自事業も実施している。

手話言語条例制定後の現状について

問 当市で手話言語条例が制定されたことにより、どのように変化したのか伺う。

部長 手話言語条例制定後の取組については、第5次総合計画で、安心して地域生活を送るための環境整備として、手話通訳者などの養成講座を開催し、意思の疎通を支援する人材育成に努めることを施策に掲げて取り組んでいる。



わかばやし しづこ
若林 志津子
(日本共産党議員団)

中学校制服の選択の幅を広げることについて

問 制服にキュロットの導入及び生徒と保護者が答えるアンケートを提案するがいかがか。

教育長 キュロットの導入は1つの案としてあると思う。制服選択制等は、生徒会が中心となり話し合い、導入していくことが望ましい。この提案により学校運営の中で変わったのは、生徒の意見を聞くということが、一番学校の意識として変わった。生徒会が中心となり校則の見直しから始めて、アンケートを取るとの話も出てくる。アンケートは必要ではないかと考える。

保育園などの子どもの対応で、問題がある場合の把握と保育士配置基準の改善を

問 ①昨年、県内で発生した保育士による不適切な行為の要因は何か。②国の定める配置基準は75年前に定められ、乳児と1～3歳児は改

善がされたが、4歳児以上の30人に1人は75年間変わっていない。配置人数を増やす改善を。

部長 ①園児の人権・人格の尊重への配慮に欠けていたのでは。②私立保育所、認定こども園は国の配置基準に沿っている。公立保育園の1歳児は国の配置基準より手厚くしている。

市長 見直しを国に迫っていくことも大事だと思う。全国市長会に向け、県の市長会などで要望していきたいと思っている。

福島第一原発事故の教訓を周知し生かす方法

問 福島の教訓を行政が市民にどのように周知するのか。

部長 平成30年に富士宮市地域防災計画に原子力災害対策計画を追加し、原発事故の対策に備えている。引き続き周知していきたい。

問 原発に対する市長の考えを伺う。

市長 私は原発に反対。原発を核兵器と同じくらい恐ろしいものだ認識し、原子力に頼らず再生可能エネルギーによる発電を推進すれば、人類の継続的な活動は可能だと確信している。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(日本共産党議員団)

公共交通の抜本的充実に向けて

問 宮タクの増便について、その経費や効果を検討して、利用者の立場から宮タクの使いやすさを改善する必要があるのではないかと。

部長 増便すると、1便当たりの乗車人数が減って事業継続が困難になる。経費や福祉的效果を試算したことはない。

問 市のホームページなどで、路線バスの割引制度や宮タクの使い方について、もっとわかりやすく丁寧な説明が必要ではないかと。

部長 市のホームページは情報量が不足しているので、内容を充実させていきたい。

問 公共交通の経済効果と福祉的效果を調査して、公共交通に税金を投入する必要性を明確にしていくべきではないかと。

部長 コストの数値化で公共交通の必要性が

明確になると思うが、市も事業者もよりよい公共交通を目指して努力しているので、調査する考えはない。

危機的な畜産酪農業への緊急支援について

問 牛乳の消費拡大について何か考えているのか。

部長 「牛乳を毎日一杯飲もう運動」や、給食のない休日、土日、休みなどの期間中、牛乳消費を呼びかけるポスターが出されてきている。

問 危機的な畜産酪農の状況について市長の考えは。

市長 国の無責任な指導で酪農家が困っている現状はわかる。チーズなど加工製品への取組が可能であれば、市として応援していきたい。

意見 加工乳と生乳の価格差を補填することで、牛乳加工製品への利用拡大につながる。農業は国の基幹産業という考えに基づいて、市長会を通じて食料自給率の向上と畜産酪農危機への緊急支援を国に働きかけてもらいたい。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)

感染症の事実確認と今後の対策

問 コロナウイルス感染症2019に感染し、後遺症で苦しむ市民への対応について。

部長 富士医療圏では富士宮市立病院をはじめ2病院、2診療所が公表されている。市ではかかりつけ医や医療機関に電話相談していただくか、診察可能な医療機関を案内している。

病院長 当院の後遺症外来では、令和3年8月から令和5年2月までに13人の患者を診察し、小児科部門では37人を診察している。これから症状の研究も進み、専門機関と連携し対応していく。

問 後遺症の認定に2か月もかかるものなのか。

病院長 コロナの後遺症やコロナワクチンの後遺症も、感染後や接種後の急性期を過ぎた症状は後遺症と言っても良いと思うが、その方を全て医療機関で診療すると対応できなくなる

ので、1~2か月経っても治らない方は、重症と判断し専門医療機関で重点的に診るとなっている。

問 带状疱疹ワクチンの助成は考えられないか。

部長 国の助成や県内市町を見ながら今後の対応を考えていく。

問 公民館や交流センターの人数制限の違いと、いつ通常の収容人数に戻すのか。

部長 部署の違いで、利用目的や利用者が違うので現在の収容人数となっており、令和5年4月1日より通常の人数に戻す調整をしている。

富士宮市立病院の待ち時間解消について

問 自動会計システム導入の予定はないのか。

部長 令和5年度中に病院システムの改修を行い、自動精算機2台を導入する準備を進める。

1級市道北町阿幸地線歩道未開通部分について

問 歩道の全面開通はいつ頃になるか。

部長 未整備箇所の用地協力については、地権者の動向を見ながら引き続きお願いしていく。

要望 歩道がしっかり完成することを願う。



ふなやま けいこ
船山 恵子
(富岳会)

災害に対応した都市づくりについて

問 災害時市内において地域的に被害が甚大などところに対して、被害が少ない自治会から支援ができるように、区長会において連携していると聞かすが、どのような体制になっているか。

部長 富士宮市区長会が富士宮市区長会災害支援協定を、平成28年12月12日に締結しており、協定の内容は被災した区の区長が属する区長会の支部長を通じて、富士宮市区長会長に支援を要請することになっている。

問 安全確保のために自治会の役割は大きいと考えるが、自治会の加入率は全国的に低下している。富士宮市内125区の5年間の推移はどうか。

部長 平成30年71.5%、令和元年70.7%、2年70.1%、3年70.0%、4年69.7%とわずかずつで

あるが、低くなっている。

問 自治会加入の最大のメリットは防災面で協力し合えること、富士宮市のためにも自治会に入っていただきたい。啓発しているとのことだが、それ以上のことは考えているのか。

部長 自治会は行政にとってすごく大事な団体となる。地域コミュニティの中核的な存在が自治会であり、行政にとっては安心安全の確立のために、その活動はすごくありがたい。自治会を持続可能な団体にするためにどうしたらいいかを今、関係課、衛生部門、環境部門、市民生活部門、企画部門、教育部門を含めて、議論をしている。継続するために、こういうやり方もあるのではという情報は、国等からのものも含めてたくさん来ている。そういった情報の提供、DX化、回覧板をラインでもできるし、しているところもある。そういった二段構えの形もあると思っている。自治会そのものの部分をしっかり形に、まずは内部で整理をしている。



むらせ ひとし
村瀬 旬
(至誠)

菩提寺もなく、墓をみてる子孫もいない市民のための、市営の永代供養墓地及び納骨堂の建設について

問 県内自治体の調査結果についての感想は。

部長 静岡市営納骨堂と袋井市営樹木葬墓地を視察した。静岡市は平成7年に設置し、1か所に一緒に収蔵する方式で永年収蔵可能数は1万7000体。袋井市は、県内初の市営樹木葬墓地に1区画に御遺骨を2体まで埋葬する方式で1000区画。いずれもお骨を骨壺から納骨袋に入れ替えて収納及び埋葬を行っている。メリットは、収納時及び埋葬時に永代使用料を払うと、その後の管理料が不要となるため、墓地を管理する方がいなくても管理の懸念がないこと。デメリットは、後にお骨を取り出すことができないことや見知らぬ方と合同埋葬になる苦情などがあり、建設に

あたってはこれらの課題について検討する必要がある。また、令和5年2月に富士市に合葬墓地が完成したので、調査を行う。

市長 市としても、ふさわしいものを建設しなければならないと思っているが、慎重に判断し時間をかけて建設に臨みたいと考えている。

生活保護費を不正に受給している市民の調査及び実態について

問 令和元年度から4年度までの実態について。

部長 令和5年2月までで、件数は37件。金額は903万7353円。

問 調査の対象者は。

部長 全ての受給者と前年度に生活保護廃止となった受給者。

問 不正受給者は自覚しているのか。また、罰則規定はあるのか。

部長 認識している。罰則ではないが徴収する金額に40%を乗じた額を別に徴収でき、過去2件ある。不正受給には厳正に対処する一方、生活保護者に寄り添い自立につながる支援を行う。



こまつ かいぞう
小松 快造
(富岳会)

ふじのくにエネルギー総合戦略について

問 ①太陽光発電について。②小水力発電について。③バイオマス発電について。④電気自動車(EV)充電スタンドについて。⑤経済と環境の好循環について(地域循環共生圏)。

部長 ①卒FITの余剰電力については、引き続き同じ電力会社に売るか、自家消費するか需要家の考えにて選択できる。②現在では市内に18か所の水力発電所が稼働中。発電所数と発電量がともに日本一。市は新たな設置に関し関係機関と積極的に調整を図り、設置者への支援に努める。③朝霧高原地区には酪農地域があり、民間業者による牛ふんをバイオマス燃料としたバイオマスプラントが運営されている。今後も燃料の安定供給が見込めることから、畜産系のバイオマスを進捗させる。また他のバイオマス

燃料についても情報収集をし、調査研究を行っていく。④市は、電気自動車普及のために、家庭や事業所における充電設備の設置をはじめ再生可能エネルギー発電所を活用した充電設備の設置について推進していく。⑤富士宮市地域循環共生圏推進協議会を設立し、地域課題を解決するための新たな事業や仕組みについての提案をいただき、それぞれの提案に応じた部会を設立し実現に向けた検討を行っている。令和4年度については7つの部会が活動し、この中には脱炭素に関する取組も含まれており、また実際に事業化され動き出す部会も出ている。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)

少子化や学校老朽化に伴う学校再編計画

問 令和4年と10年前の出生数は。

部長 令和4年は665人。10年前は1104人。

問 10年前に比べ4割減少。今までの答弁では、学校の統廃合は成り行かなくなったら考えると言っていたが、少子化は崖っぷちで、議論する時期にあると思うがいかがか。

教育長 庁内の議論は必要。学校の在り方については話を進める時期だとは承知している。

問 新しい学校づくりの議論は時間を要するので今すぐ動き出す必要を感じるがいかがか。

教育長 令和5年度、県で学校規模検討委員会を行うとの情報があり当市も参加する。統廃合ありきでなく学校の在り方を庁内で進めていく。

問 統廃合のことを数字で示したり、地域へと話題を提供しているのか。

教育長 統廃合の話はしていない。地域の理解を得て進めていくことが、富士宮市の教育を充実させる一番大きな視点である。

意見 一番大事なのは子どもの気持ちであって、富士宮市に住む子どもたちが同じ教育環境の中で同じ教育を受けてもらいたい。

有機給食及び給食の無償化について

問 有機給食を取り入れるための協議会設置を考えていないか。

部長 他の市町村の先進事例の情報を収集し、有機農業者から意見を聞き、庁内の関係部署や外部の関係者と連携し、有機農業振興に資する方策について検討していく。

問 学校給食の無償化について当市の考えは。

部長 全国では学校給食の完全無償化を実施する自治体もある。静岡県知事が給食費を含めた子育て支援策を検討していることから、今後の状況を注視していく。国へ強く要望していく。

意見 有機農業の方が富士宮市に彩りを与えている。有機給食による生計の安定を望みます。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

小中学校におけるプログラミング教育の現状及び課題について

問 プログラミング教育の現状と課題は。

教育長 デジタル教材を活用することで、プログラミングの基礎を学ぶことができた。一方で、ロボットなどの具体物を動かしたり、実感したりする場面は少ないことが課題。

問 高校生との連携や外部プログラミング講師を活用した学習を推進することは。

教育長 希望する児童生徒が参加できるような講座を開くことを考えている。そして、学んだ児童生徒が各学校の学習の中で活躍できる形でプログラミング教育を進めていく。外部講師等と連携を取りながら積極的に進めていく。

小中学生が盲導犬について学び、福祉の学習をすることについて

教育長 日本盲導犬協会富士ハーネスと連携し、富士山学習の授業等において盲導犬に関する学習に取り組んでいる。ユニバーサルデザインの視点を持つことや、障がいの有無にかかわらず共生する社会の実現を目指したインクルーシブ教育の大切さを考えることにつながる。福祉に対する理解を深める大変有効な学習である。

有機農業産地づくり推進への取組について

問 有機農業産地づくり推進への取組は。

部長 みどりの食料システム戦略の方向性については、市SDGsの理念にもかなったものであるため、市では他市町村の先進事例に関する情報収集、有機農業者からの意見収集をし、また市役所内部の関係部署及び外部関係者と連携を図り、有機農業振興に資する方策について議論したい。また、有機農家の経営基盤強化に向けた取組とともに、持続可能な農業の在り方を考える勉強会を開催するなど、有機農業産地づくり推進の実現に向けて調査研究を進めたい。



もちづき よしまさ
望月 芳将
(無会派)

富士川かりがね橋の完成が及ぼす影響

問 富士川かりがね橋が及ぼす影響について。

部長 新橋完成、開通によって渋滞緩和や移動時間短縮の効果や災害時の緊急輸送路として期待される。また、自然環境や世界文化遺産富士山を中心とする観光資源を生かした交通ネットワークの構築によって、岳南地区の魅力向上による活性化を図る大きな機会と考える。

富士川左岸道路の必要性についての考え

問 富士川左岸道路(富士川上流部を背にして左側)の必要性について。

部長 現実的に富士川左岸道路の建設となると、地形的問題による技術面、費用面からその実現は困難なものである。

問 昭和50年頃の富士宮市と星山区との間での協定書に記載されており、地元の利便性向上

と防災面から必要ではないか。

市長 私が昭和54年に市議会議員に当選した頃、話が出ていた。色々と思案検討したが、左岸沿いではなく蓬萊橋から民地道路を利用し、農免道路を通り星山への構想に落ち着いている。

土地利用計画

問 令和8年からの計画はいつから策定作業に入るのか。

部長 令和5年度から3年間かけて策定する。

問 富士市の市民団体が新橋完成後を視野に、岩本山周辺の土地利用緩和と税制優遇を要望した。富士宮市もこの動きに連動していくべきと考えるが。

副市長 富士市から一連の動きについて連絡をいただいた。常に情報交換し、隣接する場所について、お互いに早めの情報のやり取りを行う体制を作っている。

意見 時代が変わり、巨額な公共投資によって道路状況も利便性が向上したので、土地活用の活性化を図るべきである。



QRコードを読み取り、令和5年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



うすい ゆきこ
白井 由紀子
(富岳会)

現在の協議体の進捗状況と市民への周知

問 現在の第1層協議体及び第2層協議体の進捗状況と市民へ周知する方法について。

部長 第1層協議体では令和4年度2つの大きな動きがあった。1つは、第1層協議体から市に対し、高齢者ごみ出し支援に関する提言であり、これは、ごみ出し支援に関する自助・互助・共助・公助の在り方をまとめたものである。もう一つは、高齢者移動支援プロジェクトが始まったこと。第2層協議体は、それぞれの協議体でテーマを設定し、実施している。また、令和4年度から全ての第2層協議体が集まったの成果報告会を実施し、活動を共有している。協議体の意義や取組については啓発用のリーフレットを全戸配布する予定。

問 協議体の存在について、市民への周知方法

をどのように工夫しているか。

部長 分かりにくいキーワードが先行してしまい、市民に伝わりにくい。そのために具体的な写真を添えるなどし、視覚的に紹介することで、今後も広く理解の促進を図っていく。

自治会の衰退と共にその在り方について

問 地域コミュニティを担う自治会の衰退とともに、その在り方が問われているが、その対策と方針について。

部長 自治会加入率を上げるため、様々な機会を捉え加入促進に努めている。令和4年度は区長会と連携し、各自治会の対応を把握するためのアンケートを実施し、その結果を基に対応策を検討する予定。自治会の在り方については、地域の課題を取り上げ、市と連携し、より多くの住民が満足できる地域にするための重要な存在であると考えている。今後も区長会と連携し、各自治会に共通する課題の検討や情報共有など活動の支援に努める。



もちづき のりお
望月 則男
(富岳会)

空き家、空き地、耕作放棄地等、いわゆる困った土地について

問 空き家、空き地、耕作放棄地、山林及びその他の困った土地は、それぞれどの課に相談するのか伺う。

部長 耕作放棄地は農業委員会、山林は農業政策課、空き地は環境企画課、空き家は建築住宅課がそれぞれ対応する。

問 令和5年4月から始まる相続土地国庫帰属制度は積極的に勧めていくこととなるか伺う。

部長 所有者不明土地の発生となっていくことを予防する国の施策であり、市としても協力し取り組むが、土地には様々な状況があることから、慎重に必要性を見定め対応する。

問 担当課が分かれている現状から、いわゆる困った土地解決に向けた市役所内部を横断的

にまとめる役割の必要性を感じるが、当局の考えを伺う。

部長 それぞれ根拠となる法令や組織も異なるので、専門的に所管する部署で対応する。取り扱う案件によっては、複数部署の事務にまたがるため担当部署間の連携の中で対応している。

自治会の区割り及び町内会編成の在り方について

問 高齢化などにより、町内会から離脱せざるを得ない住民へのサービス低下が危惧されるが、いかがか伺う。

部長 自治会は任意団体であり、加入を強制することができない。行政サービスが、脱退した市民にも平等に行き渡るよう努めているところ。

問 区割り及び町内会再編などの基準を市がつける必要性を感じるが、いかがか伺う。

部長 独立した組織なので、こういう基準がありますという基準というような言葉は使いにくいと感じる。

政務活動費／6月定例会の予定 など

●政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、条例で定められ議会の政策立案能力向上などを図るため、視察調査をはじめ、資料作成・資料購入・研修参加などの活動に活用しています。

当市議会では、1人当たり年額30万円が会派に交付され、年度末に残額は市に返還されます。

令和4年度 会派別 政務活動費 使途内訳

項目	日本共産党議員団	富岳会	公明会	至誠	育成	キセキ	無会派 (深澤議員)	無会派 (望月芳博議員)	無会派 (近藤議員)	合計
所属議員 (R4.4.1現在)	2人	6人	2人	3人	5人	2人	1人	1人	1人	人
(R4.7.4)※①						0			1	
(R4.7.6)※②					6					
交付決定額(A)	600,000円	1,800,000円	600,000円	900,000円	1,800,000円	600,000円	300,000円	300,000円	300,000円	0円
決算額(B)	333,042	0	115,385	60,110	29,050	0	90,660	57,300	72,188	757,735
差引返納額	266,958	1,800,000	484,615	839,890	1,770,950	600,000	209,340	242,700	227,812	
交付額に対する 執行率 B/A	55.5%	0.0%	19.2%	6.7%	1.6%	0.0%	30.2%	19.1%	24.1%	

※①令和4年7月4日キセキ解散。船山恵子は富岳会へ、近藤千鶴は無会派へ。

※②令和4年7月6日松永孝男は育成へ。

●議長交際費とは

議会の対外的な活動をするため、議長が議会を代表して外部の個人や団体との交際などに要する経費で、社会通念上妥当な範囲で必要最小限の支出に努めています。年間予算額は50万円です。

※政務活動費や議長交際費の内容について、詳しく知りたい方はHP等で閲覧できます。



6月定例会の予定

6月20日(火)～7月5日(水)で開催予定

日	月	火	水	木	金	土
6/18	19	20 開会 議運	21	22 議案 審議	23 総務文教 委員会	24
25	26 環境厚生 委員会	27 産業都市 委員会	28	29	30 一般 質問	7/1
2	3 一般 質問	4 一般 質問	5 一般質問 議案審議 閉会	6	7	8

◆定例会中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0544-22-1191



議会だより電子版のご案内

富士宮市ホームページから、議会だより電子版(PDF版)を見ることができます。バックナンバーも格納していますので、是非ご利用ください！



富士宮市LINE登録のご案内

市公式LINEに、「議会」カテゴリが追加されました。

議会の定例会、委員会、その他のイベントなどを投稿しています。

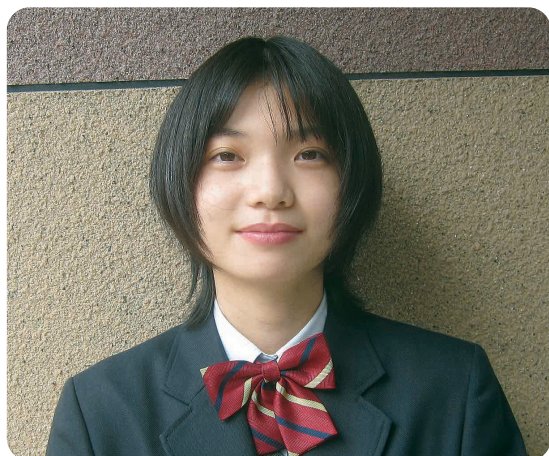


表紙の説明＆



作者高校生紹介

表紙作者紹介



▲中山愛夕美(なかやま まゆみ)さん
(表紙作成者)

本校では毎年秋に「田貫湖ウォーキング」という行事があり、その帰りに「白糸の滝」に立ち寄りました。その時、美しい滝の前で、友人と写真をたくさん撮った記憶があります。今回はその時のイメージを作品にしようと思いました。

作品は選択授業の「アニメ研究」の活動を活かし、スマホのアイビスペイントというアプリを使用して完成させました。本校ならではの個性的な作風に仕上げたつもりです。

題字の「笑顔のために」については発行が6月になると聞いたので、梅雨の雨をイメージして表現したつもりです。

今回の表紙は、富士宮高等専修学校に作成していただきました。次号(9/1発行)は富士宮西高校が作成してくれます。乞うご期待ください！！

校風紹介(学校紹介)

こんにちは、富士宮高等専修学校です。本校は富士宮駅から徒歩2分の場所にあり、「宮学(みやがく)」と呼ばれています。

卒業時には連携する高等学校の卒業資格を取得することができます。学科は総合情報科となっており、高等学校の普通教科及び情報(コンピュータ)の専門科目を学習します。

また、昨年の修学旅行は広島・大阪を訪れました。全校生徒約200人の小さな学校です。



▲修学旅行の様子

議会に一言

富士宮市内の出生数が急激に落ち込んでいると聞いて心配です。富士宮市独自の思い切った少子化対策が必要だと思います。

市議会の主導で早急に政策立案されることを期待しています。

議会に一言へのお返事と編集後記

佐野 和也 委員

出生数の減少は、核家族化により出産後の手の掛かる時期に頼れる人や場所がないことも原因の一つだと思います。経済的支援だけでなく、幅広い支援が必要だと思います。

議会だより編集委員として、市民の皆様に議会に興味を持ってもらえるよう、見やすくそしてわかりやすい議会だよりを発行していきます。

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりは、表裏表紙以外はフルカラー印刷から2色刷り印刷に変更されています。



笑顔のために

NO.429 令和5年6月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp